九州支部

教育支援の取り組み

川津悠嗣
九州支部
広報委員長

重田信爾
大分地域会

西村友吾
福岡地域会

JIA九州支部では今年度に委員会改変を行いました。今まで単独で位置付けていた事業を「事業支援委員会」に一本化して、さらにその中で「教育支援委員会」「活動支援委員会」に分けることで各事業の紐付けと情報の共有化を行い、九州支部の事業を全地域会で支える形を再構築しました。

「教育支援委員会」の中には、「建築塾」「デザインレビュー」「DR(デザインレビュー)高校生レポーター」「建築家派遣(エコルサポート)」の各事業がWGとして位置付けられました。

「DR高校生レポーター」は、九州支部で支援を行い、大学生主体の実行委員会により毎年催される「デザインレビュー」を高校生に見学していただき、建築の楽しさを知るきっかけをつくりたいという趣旨により始めた事業です。「建築家派遣(エコルサポート)」は、以前より個人レベルで行ったり、他会を支援する形で支部より小・中学校へ講師を派遣してきた出前授業の経験を活かし、支部事業としました。

小・中・高・大学生そして事務所スタッフのための「建築塾」へ続く九州支部の教育支援体制は、社会貢献と建築家およびJIAの認知度の向上に資するものと考えています。　(九州支部広報委員長　川津悠嗣(ひろし))

「デザインレビュー2021 高校生レポーター」活動報告

「デザインレビュー2021 高校生レポーター」は、九州支部が高校生を対象にした建築教育支援活動の一環として、2020年から取り組んでいる事業です。「建築設計に興味がある」「建築・設計について知りたい」と思っている高校生に、「デザインレビュー」(最終日)を見学してもらい、全国各地の大学・大学院・専門学校・高等専門学校で建築を学ぶ学生たちとその作品に触れてもらうことで、建築の楽しさや魅力を感じてもらうことを目的とし、かつ、その感想をレポートしてもらう活動です。九州支部では、参加する高校生の会場までの交通費を補助しています。

2021年は第2回目となりますが、本来は決戦会場でその場の雰囲気を感じてもらいたいところを、コロナ禍の開催のため、各地域で会場を設定し、デザインレビュー最終日(3月14日(日))午後の決勝プレゼンテーションをオンラインすることとし、各地域会で参加希望者を募りました。最終的に九州各県から25名の高校生から応募があり、開催当日は各地域会において新型コロナ感染症対策に十分配慮して開催しました。

大分地域会での視聴の様子(J:COMホルトホール大分　会議室)

宮崎地域会での視聴の様子
(宮崎工業高校)

福岡地域会での視聴の様子
(九州支部事務局)

今年度のデザインレビューは、「玲明」という未来への光を感じさせる難しいテーマでしたが、学生たちからは非常に個性的で幅広いアイデアの作品が提案されていました。レベルの高い内容を視聴することで、高校生たちが何かを感じてもらえればと願いつつ開催しました。

当日は、決勝プレゼンテーション、優秀賞議論、全体講評・結果発表と、およそ4時間にわたりました。各地域会会場では、一所懸命食らいつきながら視聴する生徒、メモを取りながら視聴する生徒、また同席の会員からのアドバイスや解説にもしっかり耳を傾け、質問にも自分なりに回答する生徒もいて、非常に充実した会となりました。後日提出してもらった感想文からも、とても真剣に視聴された様が見て取れ、参加者それぞれが非常に有意義に感じており、本企画が貴重な経験・体験になったとのことで、今後に生かしていきたいとの前向きな志向

左：①模型制作に取り組む子どもたち
右：②完成した模型を展示して見せ合う

を抱いてくれています。

今回の企画において、デザインレビュー参加学生たちの提案内容やプレゼン内容が素晴らしかったことはもちろん、各地域会担当者の解説や補足を含めて、参加した高校生にとって非常に充実した時間となったと思います。九州支部が、高校生に対する建築・設計についての啓発活動の一翼を担えたのではと感じています。

本事業の継続により、建築・建築設計に興味をもつ高校生が増加し、さらに将来の建築設計者・建築家を目指す若い方が現れるような方向へ、九州支部として応援できればと考えています。

（デザインレビュー2021高校生レポーター担当　重田信爾）

「建築家派遣エコルサポート」活動報告

「建築家派遣エコルサポート」は、子どもたちを対象にした建築教育支援活動の一環として、2019年度に川津会員（前九州支部長）の提案により発足した事業です。小・中学校では新学習指導要領のもと、2002年度から「総合学習」がカリキュラムに組み入れられ実施されています。「建築家派遣エコルサポート」は、小・中学校の「総合学習」の授業に建築家がゲストティーチャーとして参加して出前授業を行う、子どもたちへの建築やまちづくりの啓蒙を目的とした活動です。

第1回目は2019年度に福岡市立東住吉小学校6年生を対象に、川津会員と交流のあった校長先生との連携で「校区のまちづくり」を課題に総合学習の授業サポートを行いました。

コロナ禍の影響により昨年度は中止となりましたが、今年度は同校にて第2回目として「小学校を建てかえる」を課題に、全4回の6年生総合学習授業サポートを福岡地域会員と共に行いました。

初回の授業では、理想の小学校を思い描きテーマを考えるために、国内外の小学校の事例を紹介した上で、学校内外の調査や取り巻く人たちへのインタビューを行って、小学校に必要なものやあると良いものをまとめるようレクチャーをしました。

2回目の授業では、4人1組の6班に分かれてそれぞれの計画案をスライドで発表し、各案に対して講師らによる寸評を施しました。自由な発想で夢のある案から具体性をもった実用的な案まで各班の個性が垣間見えました。

3、4回目の授業では、講師6名および補助スタッフ6名による各班2名のサポート体制にて材料準備の上で模型制作に参加して、前回まとめた計画案をもとに模型制作をサポートしました（写真①）。基本的には子どもたちが主体で製作を行い、つくり方の指導やアイデアの活性化を促しました。はじめは戸惑いながらも、それぞれの役割を見いだすと分担・協力して協働作業を行い、我々の誘発にも柔軟に反応してイメージを発展させた小学校が完成しました（写真②）。

完成後は全員でそれぞれの展示模型を品評ののち、講師らの投票によりMVPおよび各賞を決定して全班にトロフィーを授与の上、講師らと共に各班の記念撮影を行いました（写真③）。

達成感と共闘感を持って互いがつくり上げた個性ある模型を眺める子どもたちの姿は、微笑ましく印象的で、子どもたちの未来への可能性を感じることができました。

これまでの活動を通して、我々が地域の建築家として子どもたちの「まちづくり」や「ものづくり」の学習に一定の貢献ができることを実感しており、今後は段階的に自治体や教育機関との連携を図り、有料の派遣事業に発展させることで、継続的かつ広域的な活動として実践していけたら望ましいと考えています。

（「建築家派遣エコルサポート」担当　西村友吾）

③トロフィー授与式の様子